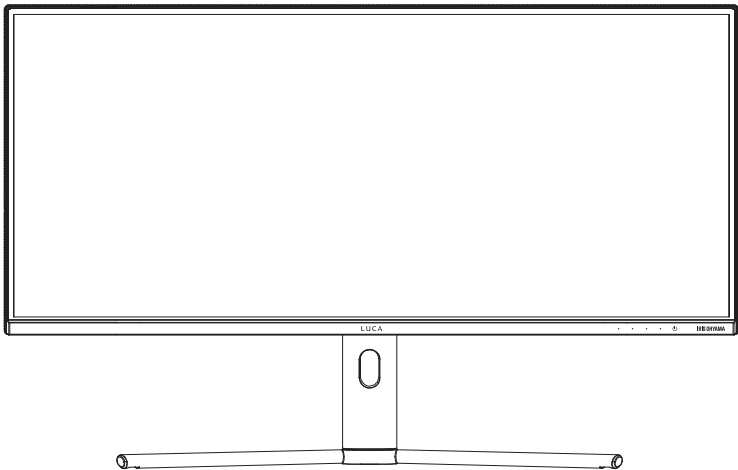


ウルトラワイドモニター

ILD-ACW34WQHD

取扱説明書



もくじ

ご使用の前に

安全上の注意 2

使用上の注意 4

各部の名称 5

準備

設置 7

接続 9

使いかた

使いかた 11

設定 13

お手入れ 14

こんなときには

故障かな？と思ったら 15

仕様 17

保証とアフターサービス 裏表紙

この商品は海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- 異常な音やにおいがする、煙が出ている
- 内部に水や異物が入った
- 本機を落としたり、本機の一部を破損した
- 正常に動作しない（画面が映らない）
- 電源コードに傷がある
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・破裂・けが・動作不良の原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- 不安定な場所に設置しない
ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや家財の破損の原因になります。
水平で安定した場所に設置してください。



水ぬれ禁止

- 水をかけない
- 水がかかるような場所で使用しない
火災・感電の原因になります。



- 通風孔をふさがない
火災の原因になります。

電源プラグは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

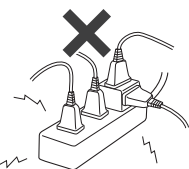
- お手入れや移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体差し込みプラグを本体から抜く
感電やけがの原因になります。



- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。
- 海外で使用しない
火災・感電の原因になります。
本機は日本国内専用です。船舶の電源や発電機、電圧の異なる海外の電源では使用しないでください。
- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- 電源プラグをコンセントから抜くときはコードを無理に引っ張らない
コードを引っ張るとコードが損傷し、火災や感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときはコンセントから電源プラグを抜く
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。
- 乳幼児に電源プラグを触らせない
けがや感電の原因になります。
- コンセント・延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。
- 付属の電源コードを他の機器に接続しない
- 付属以外の電源コードを本機に接続しない
火災や感電の原因になります。
付属の電源コードは本機専用です。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグや本体差し込みプラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。

安全上の注意 つづき



アースを接続

- **アースを取り付ける**
アースを取り付けることをおすすめします。アースを取り付けないと、故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。
次のような場所で使用する場合は、法律でアース工事（D種接地工事）が義務付けられています。
- **湿気の多い場所**
土間・コンクリート床・貯蔵室など
飲食店の厨房など
- **水気のある場所**
洗い場など水を扱うところ、水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところ



- **アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない**
爆発・火災の原因になります。



- **熱器具のそばで使わない**
火災・感電・やけどの原因になります。



- **液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えたりしない**
液晶パネルが割れてけがの原因になります。液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因になります。
万一パネル内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師の診察を受けてください。



- **梱包用の袋や小さな部品を乳幼児の手が届くところに置かない**
袋をかぶったり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。



感電注意

- **雷が鳴りだしたら本機や電源コード、電源プラグに触れない**
感電の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- **眼精疲労を防ぐため、以下のことを守る**
液晶ディスプレイを見る作業を続けるときは、画面の明るさと周囲の明るさの差をなるべく小さくして使ってください。
また、連続して作業をするときは、1時間に10分から15分程度の休憩をとってください。



- **倒したり、逆さまにして使用しない**
火災の原因になります。



- **設置時や液晶パネルの角度調整時に指を挟まないよう気をつける**
けがの原因になります。



- **人が通る場所では、電源コードや接続コードが足に引っかからないように注意する**
足を引っかけると、転倒してけがをするおそれがあります。また、本体が転倒して、けがや周囲の物品を破損する原因になります。



プラグを抜く

- **長期間使わないときは、必ず電源コードを抜く**
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。



- **移動するときは、必ず本体を持ち、スタンドが抜けないように注意する**
逆さまにしてスタンドを持つと、本体が外れて落下し、危険です。



- **湿気・ほこり・油煙・湯気の多い場所、直射日光の当たる場所では使用しない**
火災や感電の原因になります。

使用上の注意

● 本書の表記と内容について

- ・ 本機の仕様および機能などは、ファームウェアの更新などにより予告なく変更されることがあります。
- ・ 本書に記載されている画面などのイラストは実際とは異なる場合があります。実際に表示される画面で確認してください。

● 液晶パネルについて

- ・ 液晶パネルには、画面の一部に欠点（黒い点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありませんのでご了承ください。
- ・ 見る角度や温度変化によって、色むらや明るさのむらが見えるときがありますが、故障ではありません。
- ・ 液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えないことがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- ・ 液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。常温での使用時に画面が暗くなるようになったら、アイリスコールへご相談ください。
- ・ 同じ画面を長時間表示していると、画面の焼き付きを起こすことがあります。パソコンやディスプレイを使わないときは電源を切ってください。

● 本機の温度について

- ・ 本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

● 部品の寿命について

- ・ 本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品の寿命は使用頻度や使用環境によって異なります。
- ・ 本機は一般家庭やオフィスでの使用を想定して設計されています。それ以外の環境での使用は部品の寿命を縮める原因となります。
- ・ 本機は24時間の連続使用を前提とした設計ではありません。24時間連続での使用は部品の寿命を縮める原因となります。

● お手入れについて

- ・ お手入れの際は、必ず本機および接続している機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、本体差し込みプラグを本体から抜いてください。
- ・ ベンジン・シンナー・アルコール・消毒薬・クリーナー・クリーニングペーパーは使わないでください。
また、化学ぞうきんを使用する場合は、化学ぞうきんの注意書きにしたがってください。
- ・ 殺虫剤や揮発性のあるものをかけないでください。
また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- ・ 液晶パネルの保護のため、パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押しついたりこすったりしないでください。傷・変色の原因になります。
- ・ 液晶パネルの表面に、結露による水滴など液体が付着した状態で使用しないでください。色むら・変色の原因になります。

● 輸送・設置について

- ・ 本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や欠点の増加のおそれがありますので、横倒しで輸送しないでください。
- ・ 液晶パネルは傷つきやすいので、手で強く押したり、固いもので押したりしないでください。
- ・ 本棚などの通気の悪い場所に設置するときは、本体と周囲との間に十分なスペースを空けてください。
- ・ 使わないときは、内部にほこりが入らないようにカバーなどをかけてください。

● 免責事項について

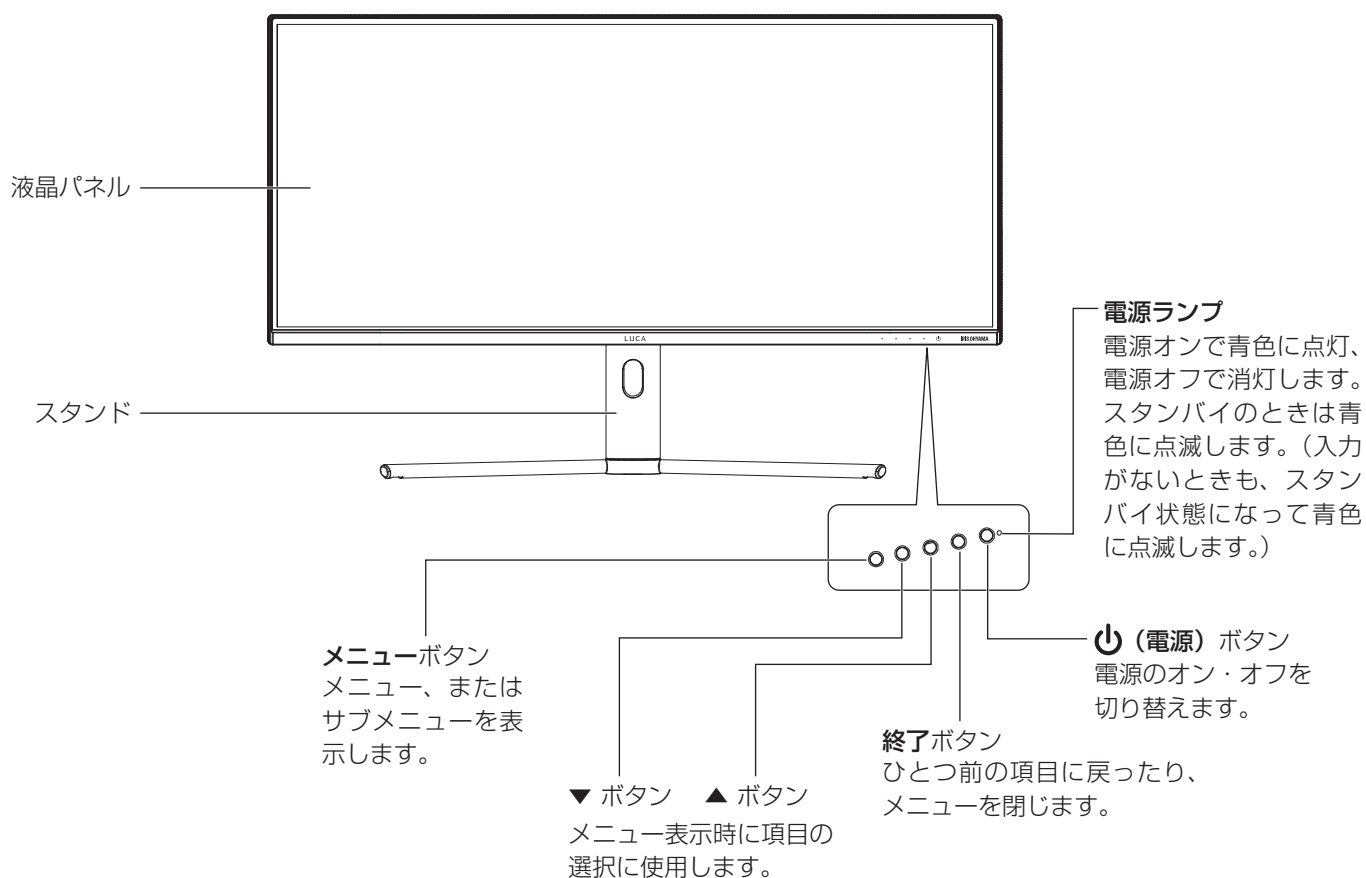
- ・ 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

廃棄するとき

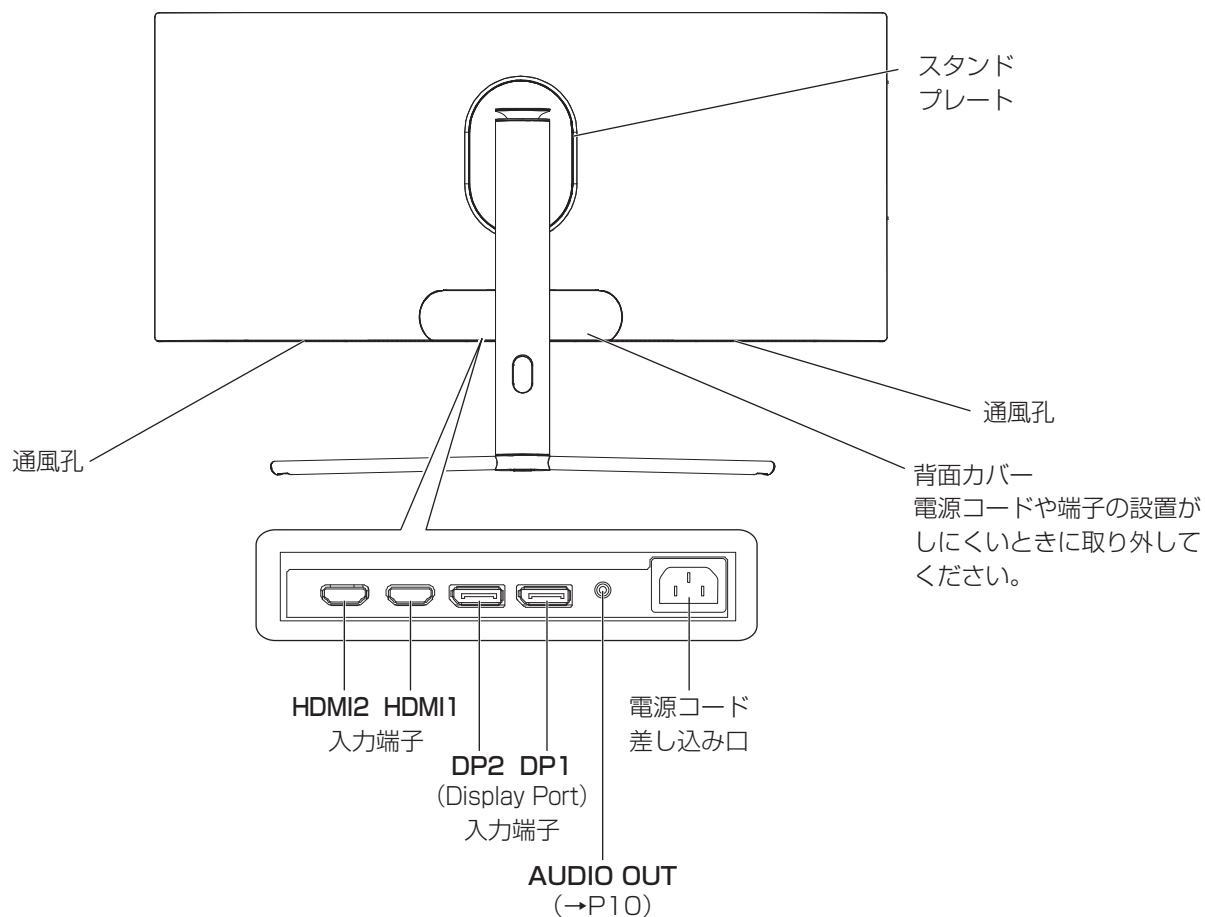
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称

■ 本体前面



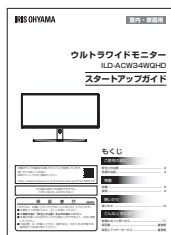
■ 本体背面



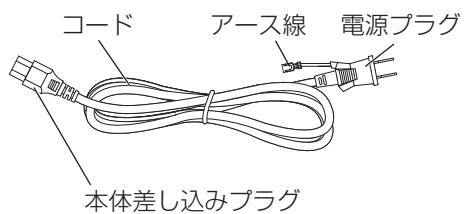
各部の名称 つづき

■ 付属品

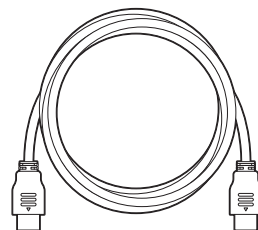
取扱説明書、保証書



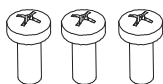
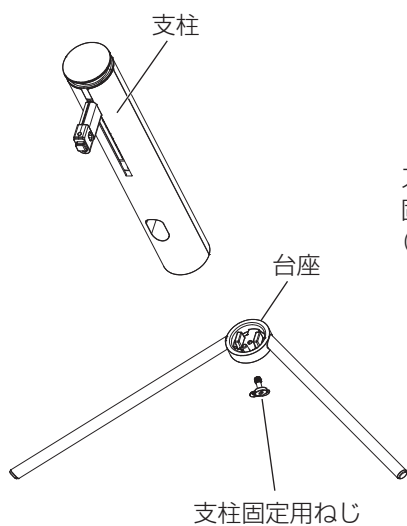
電源コード



HDMIケーブル

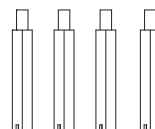


スタンド



スタンドプレート
固定用ねじ×2
(予備×1)

六角ボルト
(壁掛け金具取り付け用) ×4



設置

■ スタンドを取り付ける

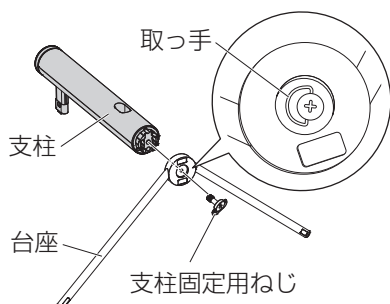
台などの上に設置する場合は、付属のスタンドを取り付けてください。

1 台などの上に毛布など柔らかい布を敷き、その上に液晶パネルを下向きにして本体を置く

- ・ 購入時には発泡スチロールのケースに液晶パネルを下向きにした状態で、スタンドを設置することをおすすめします。

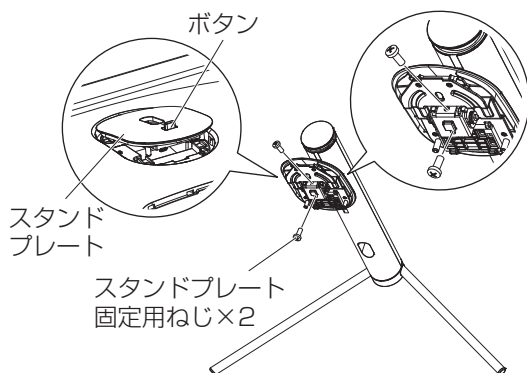
2 スタンドを組み立てる

- ・ 台座に取り付けられている支柱固定用ねじで、支柱を台座に取り付けてください。取り付け終わったら支柱固定用ねじの取っ手を倒してください。



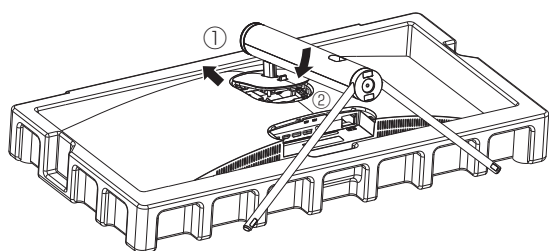
3 スタンドプレートスタンドに取り付ける

- ・ ボタンを押してスタンドプレートを取り外し、付属のスタンドプレート固定用ねじでスタンドに取り付けます。



4 スタンドプレートをディスプレイにしっかり固定されるように取り付ける

- ・ 本体背面のスタンドプレート接続部に①スタンドプレートの上部を差し込んでから、②しっかり固定されるまで押し込んでください。

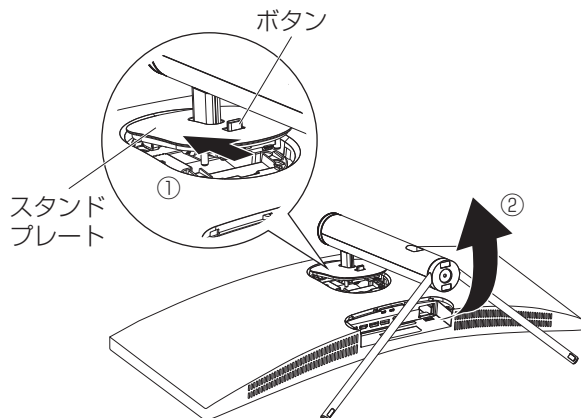


※ 取り付けの際、曲面の頂点を強く押しすぎないようにご注意ください。破損の原因になります。

■ スタンドを取り外す

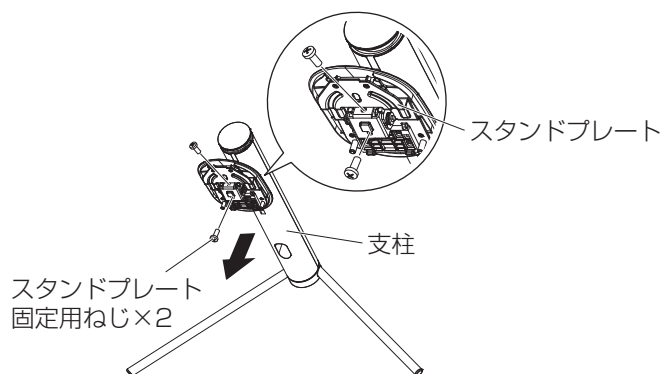
1 台などの上に毛布など柔らかい布を敷き、その上に液晶パネルを下向きにして本体を置く

2 ボタンを押してスタンドを持ち上げながら外す



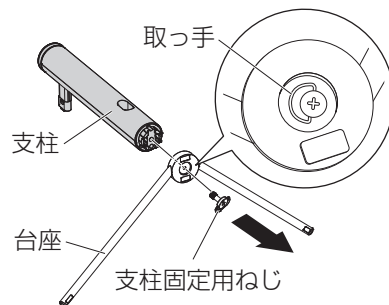
3 スタンドプレートを取り外す

- ・ 取り付けした固定用ねじ×2を外し、スタンドプレートを取り外します。



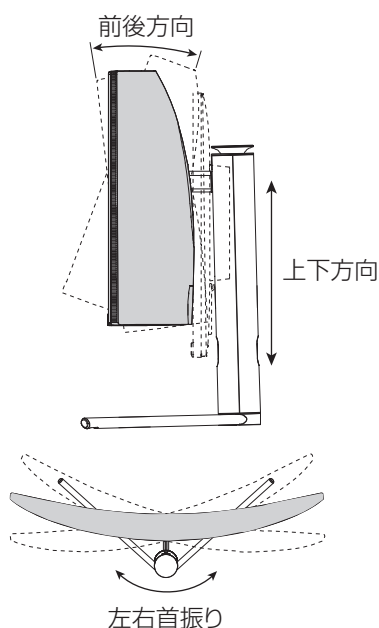
4 支柱を取り外す

- ・ 支柱固定用ねじを外し、支柱を台座から取り外してください。



■ 液晶パネルの角度調整

前後方向、左右首振り角度および上下方向の高さ調整ができます。



※ 液晶パネルを強く押さないでください。破損や転倒の原因になります。



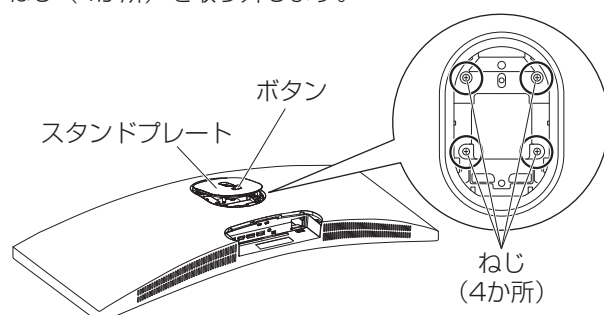
注意

- 可動部を持たないでください。指を挟むことがあります。両手で左右外形部などを持って動かしてください。

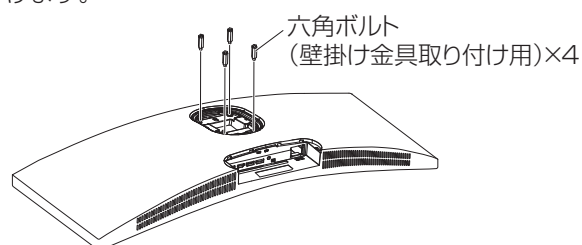
■ 市販のアームなどに取り付けるとき

本機は市販のディスプレイアームなどに取り付けて使用することができます。

- ① ボタンを押してスタンドプレートを取り外します。
- ② ねじ（4か所）を取り外します。

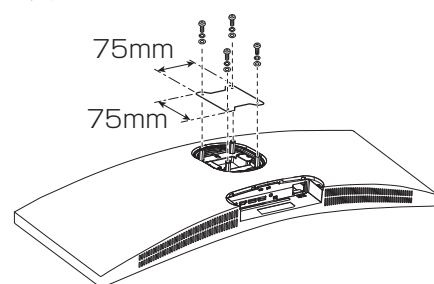


- ③ 付属品の六角ボルト（壁掛け金具取り付け用）を取り付けます。

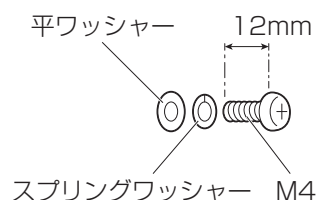


- ④ ディスプレイアームはVESA規格に準拠したものを使用してください。

取付金具厚み：2.0 ～ 3.2mm
取付穴ピッチ：75×75mm



- ・ 取付ねじ
サイズ：M4×12mm
締め付けトルク：80 ～ 100N・cm

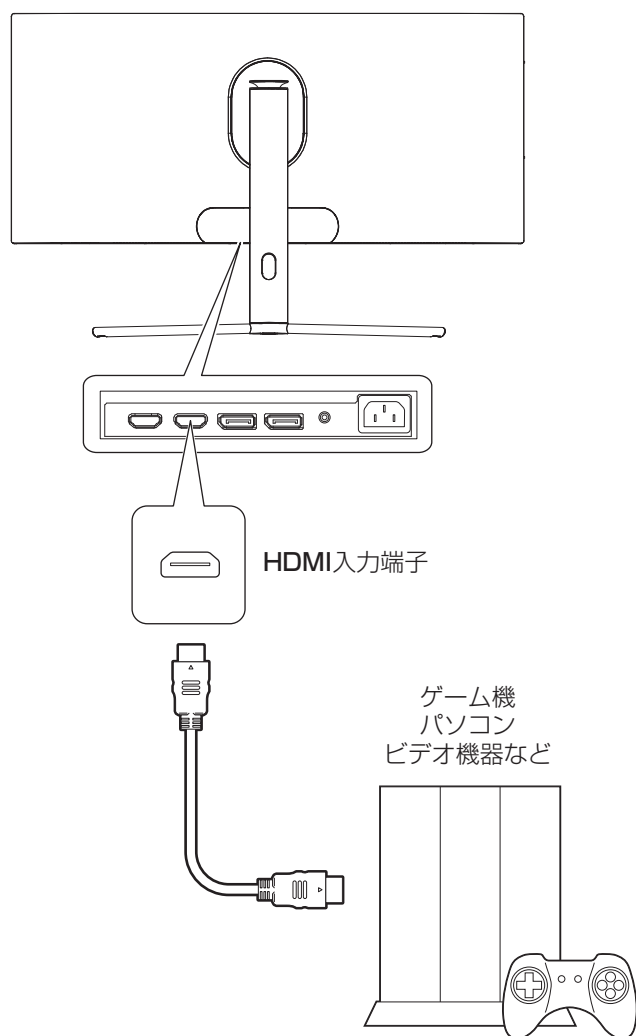


- アームの設置や設置場所についての安全上の注意などは、アームの取扱説明書をご覧ください。
- アームの取り付けは、お客様の責任において行ってください。万一、アームに付随する事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 取付ねじは、必ず上記の仕様のものを使用してください。上記以外のものを使用した場合は、液晶ディスプレイ内部の破損や、落下の原因になります。

接続

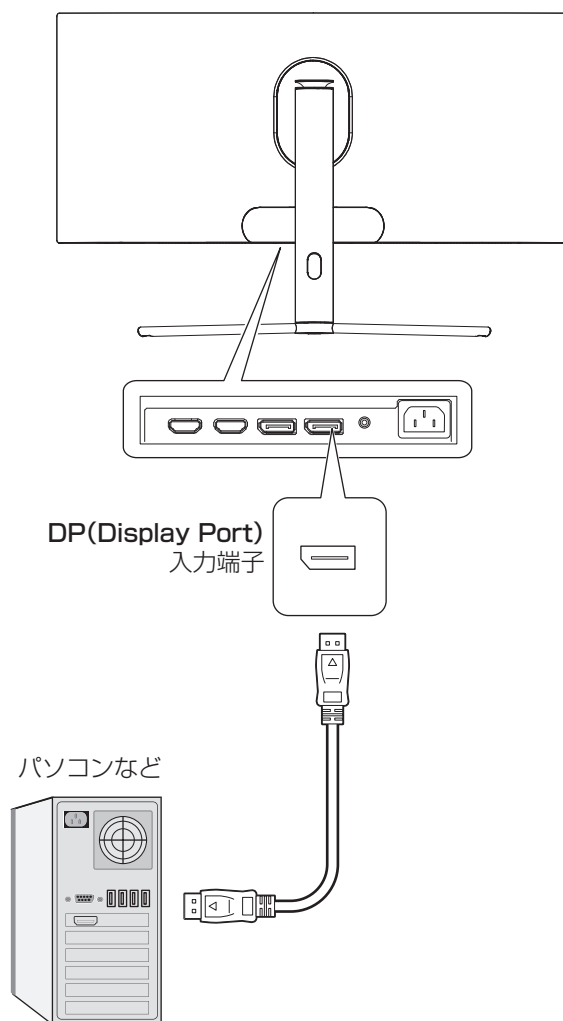
■ HDMI入力端子を使う場合

- ・ゲーム機・パソコン・ビデオ機器などのHDMI出力端子と、本機のHDMI入力端子を、HDMIケーブルで接続してください。
- ※ HDMI出力端子のない機器でも、変換ケーブルなどを使用すれば、映像を表示できる場合があります。
- ※ 機器によっては、本機で映像を表示できるように、解像度・周波数などの設定を行ってください。（通常は、接続する機器がディスプレイとして本機を識別して、解像度・周波数などを自動で設定します。）



■ Display Port入力端子を使う場合

- ・接続する機器のDisplay Port出力端子と、本機のDisplay Port入力端子を、Display Portケーブルで接続してください。
- ※ Display Port出力端子のない機器でも、変換ケーブルなどを使用すれば、映像を表示できる場合があります。
- ※ 機器によっては、本機で映像を表示できるように、解像度・周波数などの設定を行ってください。（通常は、接続する機器がディスプレイとして本機を識別して、解像度・周波数などを自動で設定します。）
- ※ Display Portケーブルは付属しておりませんので、別途買い求めください。

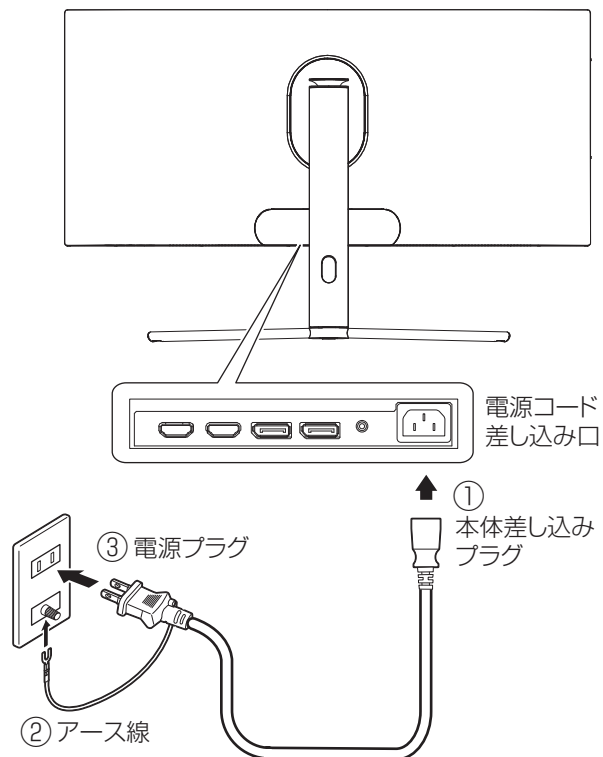


■ Audio Output端子を使う場合

- Audio Output端子にオーディオアンプなどを接続できます。
- ※ 接続ケーブルなどは付属しておりませんので、別途買い求めください。

■ 電源コードを接続する

- ① 本体差し込みプラグを電源コード差し込み口に接続し、
- ② アースをつないでから、③ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。



注意

- アースをつないでから、電源プラグをコンセントにつないでください。
発火・感電の原因になるおそれがあります。
- 電源プラグを抜いてから、アース線を外してください。
発火・感電の原因になるおそれがあります。

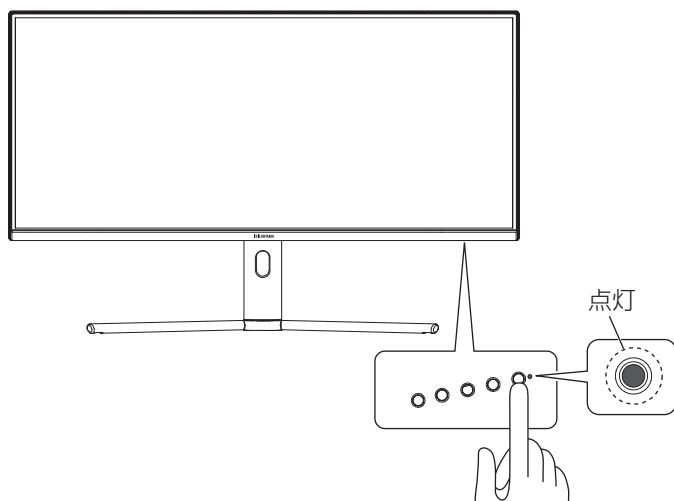
使いかた

■ 電源をオン／オフするには

電源をオンにする

⏻（電源）ボタンを押す

- ・ 電源ランプが青色に点灯します。



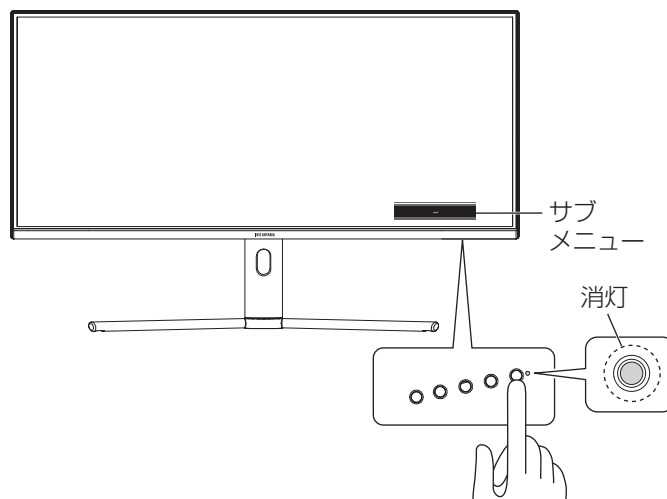
※ 電源を入れても入力がない場合は、画面に**No Signal**と表示された後、**Enter Power Saving**と表示され、スタンバイ状態になって電源ランプが青色に点滅します。

電源をオフにする

いずれかのボタンを押しサブメニューを表示した後、

⏻（電源）ボタンを押す

- ・ 電源ランプが消灯します。



※ 以下のサブメニューが選択されている場合に電源ボタンを押すことで電源をオフにできます。(→P12)

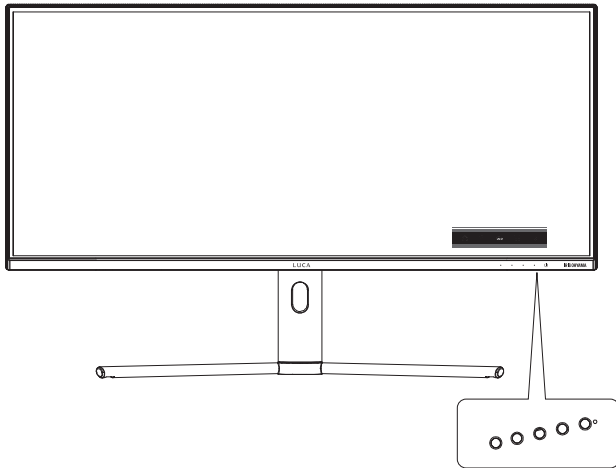
- ・ 設定メニュー
- ・ ゲームカーソル選択
- ・ モード切替
- ・ 階調の範囲

使いかた つづき

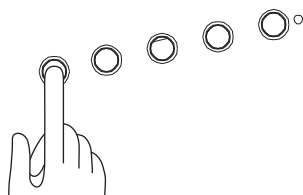
■ ボタンの操作

設定メニュー

- いずれかのボタンを押すと、サブメニューが表示されます。



- サブメニューが表示されたら**メニュー**ボタンを押します。(→P13)

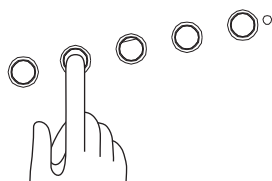


- 選択項目が表示されたときは、▼/▲ボタンを押して項目を選択し**メニュー**ボタンを押して、決定してください。
- 調整項目が表示されたときは、▼/▲ボタンを押して項目を選択し**メニュー**ボタンを押して、決定してください。
- **終了**ボタンを押すと、一つ前の項目に戻ります。
- メニューの一番左側にカーソルが合っている際に**終了**ボタンを押すと、終了します。



ゲームカーソル選択

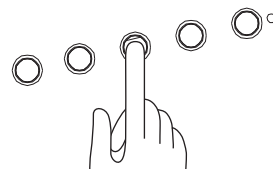
- いずれかのボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
- サブメニューが表示されたら▼ボタンを押します。



- 画面の真ん中にゲームカーソルが表示されますので、表示モードを▼/▲ボタンで選択し、決定してください。
- 表示を消す際は、**メニュー**ボタンまたは**終了**ボタンを押してください。

映像のモード切替

- いずれかのボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
- サブメニューが表示されたら▲ボタンを押して、選択します。(設定メニューの色設定→**モード切替**でも選択できます。)



スタンダード：標準のモードです。

フォト：写真を閲覧するのに最適化されたモードです。

ムービー：映画を鑑賞するのに最適化されたモードです。

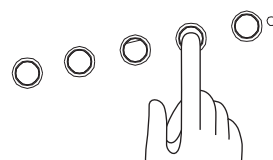
ゲーム：ゲームに最適化されたモードです。

FPS：一人称視点のシューティングゲームに最適化されたモードです。

RTS：リアルタイムストラテジーゲームに最適化されたモードです。

階調の範囲

- いずれかのボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
- サブメニューが表示されたら**終了**ボタンを押して、選択します。



- **終了**ボタンを押して、階調の範囲を選択します。
RGB Range : Full・・・RGBを0～255で表現します。
RGB Range : Limited・・・RGBを16～235で表現します。



入力

- 入力端子を選択します。

DP1
DP2
HDMI1
HDMI2

明るさ・コントラスト

明るさ：明るさを調整します。

(モード切替の設定がスタンダード、DCRがオフのときのみ)

Blacklevel：映像の黒レベルを調整します。

(モード切替の設定がスタンダード、DCRがオフのときのみ)

コントラスト：コントラストを調整します。

(モード切替の設定がスタンダード、DCRがオフのときのみ)

DCR：DCR 機能のオン/オフを選択します。

色設定

ガンマ：ガンマ値を調整します。

モード切替：映像のモードを選択します。

色温度：色の温度を選択します。

ブルーライト軽減：ブルーライトを軽減させる量を調整します。

(モード切替の設定がスタンダード、DCRがオフのときのみ)

色相：色相を調整します。

(モード切替の設定がスタンダード、DCRがオフのときのみ)

彩度：彩度を調整します。

(モード切替の設定がスタンダード、DCRがオフのときのみ)

画質設定

シャープネス：画像の鮮明さを調整します。

応答速度：画面上で色が切り替わる早さを選択します。

ノイズリダクション：ノイズを抑圧・軽減する設定を選択します。

超解像度：低解像度映像を補填する設定を選択します。

Dynamic Luminous Control：色調を自動的に調整する機能のOn/Offを選択します。

MPRT：画面が暗くなる代わりに映像の残像感を低減します。

※「明るさ」設定を変更した場合、本設定は自動解除されます。

ディスプレイ設定

アスペクト比：ディスプレイのアスペクト比を選択できます。

LedMode：背面LEDのON/OFF/Flickerのモードが選択できます。

オーディオ設定 (AUDIO OUT端子を使用する場合のみ有効)

ミュート：ミュートのオン/オフを選択します。

音量：音量の調整をします。

Audio Source：自動選択されます。

マルチウィンドウ

マルチウィンドウ：マルチウィンドウにする際の種類を選択します。

Sub Win2入力：サブウィンドウの入力端子を選択します。

(マルチウィンドウの設定がONのときのみ)

PIPサイズ：PIP のサイズを調整します。

(マルチウィンドウの設定がPIPモードのときのみ)

PIP位置：PIP の位置を調整します。

(マルチウィンドウの設定がPIPモードのときのみ)

SWAP：マルチウィンドウのメインウィンドウとサブウィンドウを入れ替えます。

※1台しか接続機器がない場合は、自動でメインウィンドウがサブウィンドウにも映し出されます。

OSD

言語：設定メニューの表示言語を選択します。

OSD水平位置：設定メニューの水平位置を調整します。

OSD垂直位置：設定メニューの垂直位置を調整します。

OSD透明度：設定メニューの透明度を調整します。

OSDタイマー：設定メニューの表示時間を調整します。

OSD回転：設定メニューの回転角度を選択できます。

その他の設定

DPバージョン：Displayportのバージョンを選択できます。

(入力がDP1/DP2のときのみ)

Adaptive-Sync：ADAPTIVE SYNCのOn/Offを選択します。

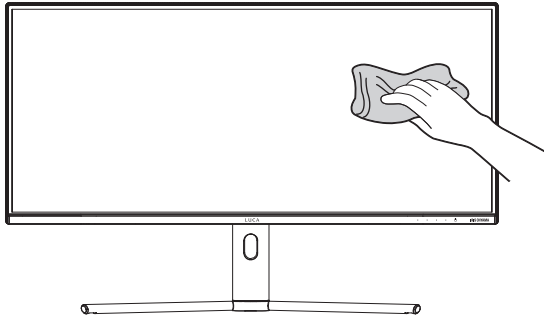
HDR：HDRのOn/Offを選択します。

リセット：すべての設定を初期化します。

お手入れ

■ 本体・スタンド

乾いた布で拭く



※ 汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後はから拭きしてください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源がオンにならない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。(→P10)
	● 本体差し込みプラグが電源コード差し込み口に確実に差し込まれていない	● 本体差し込みプラグを電源コード差し込み口に確実に差し込んでください。(→P10)
画面上に赤や青、緑に点灯したままの点や、点灯しない黒い点がある	● 液晶パネルは非常に精密な技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠け(欠点)や常時点灯する画素(輝点)がある場合があります。	● 故障ではありません。
映像が縦長や横長になる	● アスペクト比が正しく設定されていない	● 設定メニューの アスペクト比 を AUTO に設定するか、 ワイドスクリーン または 4:3 、 1:1 に手動で設定し直してください。
映像が乱れる	● 画面調整が正しく設定されていない	● 入力信号が本機に対応したものであるかをご確認ください。(→P16)
画面が暗い	● 明るさが正しく調整されていない	● 設定メニューの 明るさ・コントラスト を調整してください。(→P13)
色が薄い、色あいが悪い	● 色の濃さ、色あいが正しく調整されていない	● 設定メニューの 明るさ・コントラスト や 色設定 を調整してください。(→P13)
映像が出ない	● 映像機器と正しく接続されていない	● 映像機器との接続と、映像機器の電源を確認してください。(→P9、10) 入力信号が本機に対応したものであるかをご確認ください。(→P16)
	● 電源がオフになっている	● ⏻ (電源) ボタンを押して、電源をオンにしてください。(→P11)
	● 端子にケーブルが正しく接続されていない	● 本機とケーブル および 出力機器とケーブルの接続をご確認ください。(→P9)
Audio Output 端子を接続しても音が出ない ※本機はスピーカーが付いていないため、本体から音が出ない仕様になっています。	● 音量が最小になっている	● 設定メニューの オーディオ設定 で調整してください。(→P13) ● ゲーム機、パソコン、ビデオ機器などの音量調整をしてください。
	● 音声ケーブルが正しく接続されていない	● 音声ケーブルを正しく接続してください。(→P10)

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● ご自分で分解・修理・改造しないでください。

故障かな？と思ったら つづき

■ 動作保証信号規格一覧（参考）

※ 下表の中でも、使用される機器によっては出力されない場合があります。

<HDMI端子>

PC信号 RGB Full	3440 x 1440	120Hz/100Hz 75Hz/60Hz 50Hz 8bit
	2560 x 1440	
	1920 x 1440	
	1920 x 1200	
	1920 x 1080	
	1768 x 992	
	1680 x 1050	
	1600 x 1200	
	1600 x 1024	
	1600 x 900	
	1440 x 900	
	1366 x 768	
	1360 x 768	
	1280 x 1024	
	1280 x 960	
	1280 x 800	
	1280 x 768	
	1280 x 720	
	1152 x 864	
	1024 x 768	
	800 x 600	
TV信号 YCbCr Limited	3840 x 2160	120Hz/119Hz 60Hz/59Hz 50Hz 8bit
	2560 x 1600	
	2048 x 1536	
	1920 x 1080	
	1768 x 992	
	1680 x 1050	
	1600 x 1024	
	1600 x 900	
	1440 x 900	
	1366 x 768	
	1360 x 768	
	1280 x 1024	
	1280 x 960	
	1280 x 800	
	1280 x 768	
	1280 x 720	
	1176 x 664	
	1152 x 864	
	1024 x 768	
	800 x 600	
	720 x 576	
	720 x 480	
	640 x 480	

<DP端子>

PC信号 RGB Full	3440 x 1440	144Hz/120Hz 100Hz/75Hz 60Hz/50Hz 10bit/8bit
	2560 x 1440	
	1920 x 1440	
	1920 x 1200	
	1920 x 1080	
	1768 x 992	
	1720 x 1440	
	1680 x 1050	
	1600 x 1200	
	1600 x 1024	
	1600 x 900	
	1440 x 900	
	1366 x 768	
	1360 x 768	
	1280 x 1024	
	1280 x 960	
	1280 x 800	
	1280 x 768	
	1280 x 720	
	1152 x 864	
	1024 x 768	
	800 x 600	
TV信号 YCbCr Limited	3840 x 2160	120Hz/119Hz 60Hz/59Hz 50Hz 10bit/8bit
	2560 x 1600	
	2048 x 1536	
	1920 x 1080	
	1768 x 992	
	1680 x 1050	
	1600 x 1024	
	1600 x 900	
	1440 x 900	
	1366 x 768	
	1360 x 768	
	1280 x 1024	
	1280 x 960	
	1280 x 800	
	1280 x 768	
	1280 x 720	
	1176 x 664	
	1152 x 864	
	1024 x 768	
	800 x 600	
	720 x 576	
	720 x 480	
	640 x 480	

仕様

品番	ILD-ACW34WQHD	
製品寸法（本体）	809×511×256mm	
製品質量	7.6kg	
付属品	HDMIケーブル、電源コード、スタンド、取扱説明書、保証書 六角ボルト（壁掛け金具取り付け用）、予備ねじ	
定格電圧	AC 100V	
定格消費電力	58W	
定格周波数	50/60Hz	
解像度	3440×1440	
VESA mount	75×75mm	
チルト角	上下	-5°～15°
	左右	左15° 右15°
UP/Down	100mm range	
アスペクト比	21：9	
入出力端子	HDMI×2、ディスプレイポート×2、Audio端子×1	
応答速度	(GtoG) 6ms ※Over Drive時	
リフレッシュレート	144Hz	
環境条件	温度	0～40℃
	湿度	10～85%



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日

Web即時回答サービス



製品に関する

お問い合わせ (通話料無料)

アイリスコール

0800-111-3155

9:00～17:00

(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。